

## 食道癌内視鏡治療後における異時性頭頸部癌発生についての検討

### 1. 研究の対象

2006 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までに、表在型食道癌に対して内視鏡的治療を受けた方。

### 2. 研究目的・方法

目的：食道がんの既往のある方は、同じ扁平上皮である頭頸部癌（口腔・咽頭・喉頭）を発症しやすいとされています。しかし現在、咽頭周辺の詳細な観察は通常の内視鏡検査時には行われていないことも多いです。そこで、本研究では食道癌内視鏡治療後の頭頸部癌について過去に遡って調査し、当院において積極的な咽頭観察を開始した時期の前後で発見率に差があるかどうかを明らかにすることを目的としました。

方法：2006 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までに、表在型食道癌に対して内視鏡的治療を受けた方を対象としました。2006 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までに当院で施行された内視鏡検査で、異時性頭頸部癌の発生について調査します。当院で口腔・咽頭の観察が標準の観察方法となった時期の前後での発生率に統計学的な差があるかどうかを検討します。

### 3. 研究に用いる情報の種類

情報：診療録(内視鏡検査所見等)

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：

大阪国際がんセンター 消化管内科 浅田 裕也

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上